

2012年3月期 第2四半期 決算説明資料



KANEMATSU CORPORATION

2011年11月11日

本説明会・資料における当社グループの今後の計画・見通し・戦略等、将来に関する記載は、当社が現時点において把握可能な情報をもとに判断したものであり、これらは様々なリスクや不確実性が内在しております。

従って、経営環境の変化、未知のリスクの顕在化、およびその他様々な要因により、実際の業績等の結果は大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

1.	2012年3月期第2四半期 決算概要	・・・	3
2.	2012年3月期 通期見通し	・・・	15
3.	Appendix	・・・	23

1

2012年3月期第2四半期 決算概要

前年同期比で増収増益

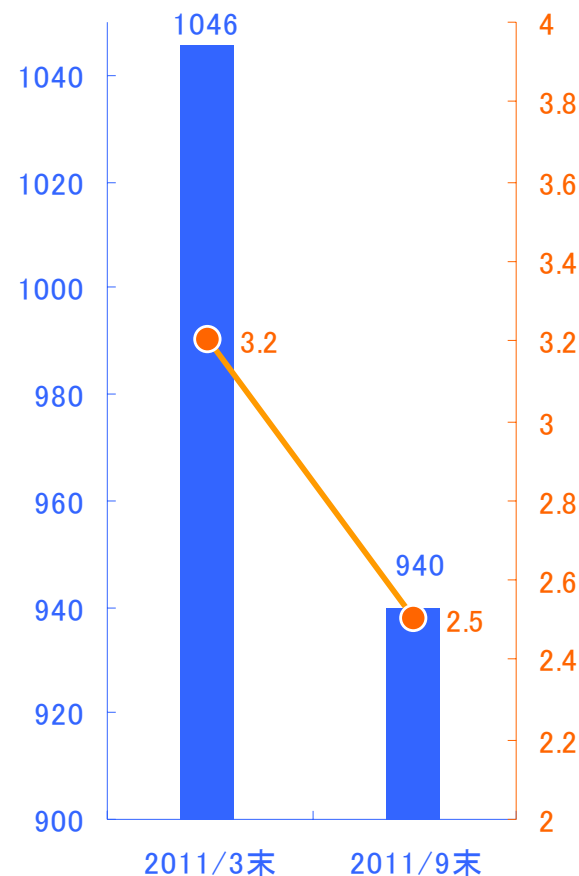
(億円)	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	4,546	4,934	+388	+9%
営業利益	92	115	+23	+25%
経常利益	76	95	+19	+25%
四半期純利益	40	64	+24	+58%
(参考) 四半期包括利益	4	46	+43	+1,180%

■ 国内外の需要回復や商品価格の高騰などを背景に増収増益。

財務体質は着実に改善

ネット有利子負債: 億円

ネットDER: 倍



(億円)	2011/3末	2011/9末	増減額	増減率
総資産	3,887	3,876	-11	-0%
純資産	496	539	+43	+9%
自己資本 ^(注1)	331	370	+39	+12%
自己資本比率 ^(注2)	8.5%	9.6%	1.1pt改善	
グロス有利子負債	1,736	1,684	-53	-3%
ネット有利子負債	1,046	940	-106	-10%
ネットDER ^(注3)	3.2倍	2.5倍	0.7改善	

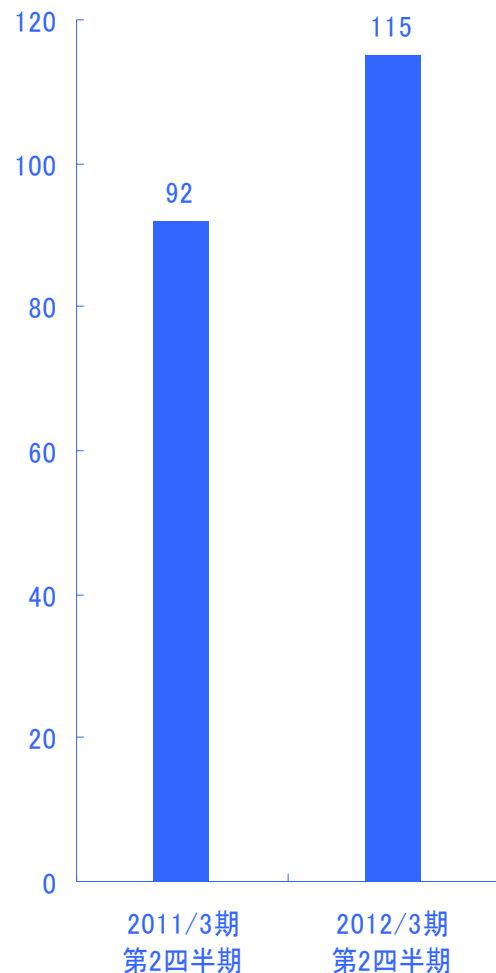
注1: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分

注2: 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

注3: ネットDER = ネット有利子負債 / 自己資本

■ 借入金返済を進め有利子負債が減少。
利益積み上げにより自己資本が増加。
結果、自己資本比率・ネットDERともに改善。

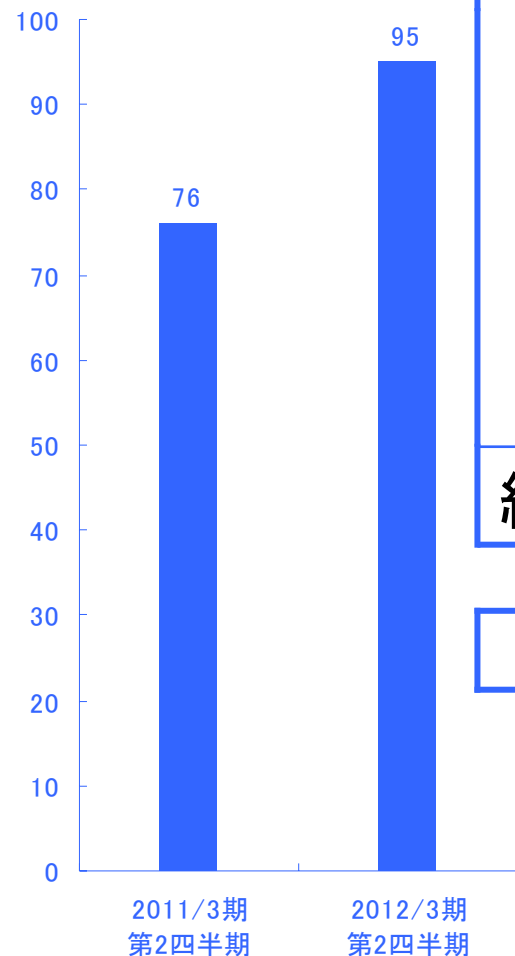
営業利益: 億円



(億円)	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	4,546	4,934	+388	+9%
売上総利益	380	408	+29	+8%
売上総利益率	8.4%	8.3%	-0.1pt	
販管費	287	293	+6	2%
人件費	149	156	+7	+5%
物件費他	138	137	-1	-1%
営業利益	92	115	23	+25%
営業利益率	2.0%	2.3%	+0.3pt	

- 商品価格の高騰や底堅い国内需要を取り込み、売上高・売上総利益が増加。
- 販管費の増加抑制にも努め、営業増益。

経常利益:億円



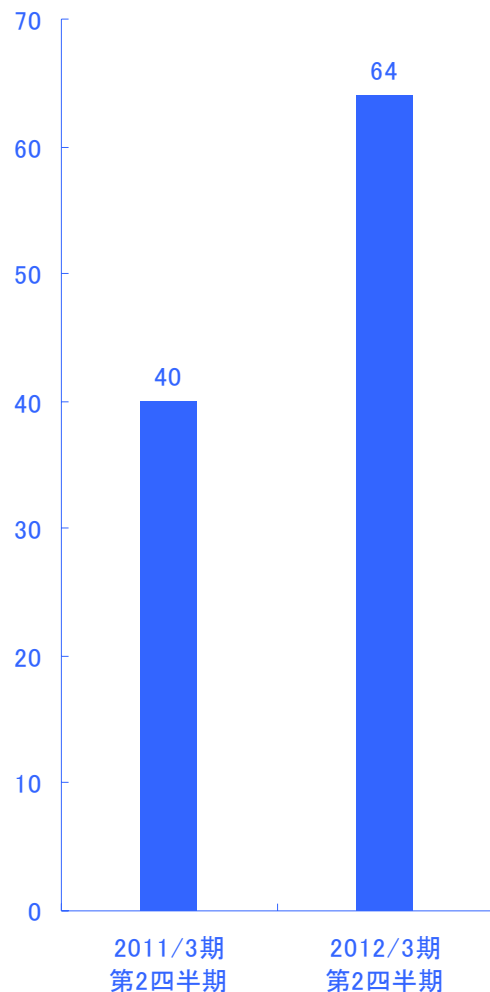
(億円)	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	増減額	増減率
営業外収支	-16	-21	-4	-
金融収支	-11	-14	-3	-
受取利息	3	2	-1	-21%
受取配当金	7	5	-3	-39%
支払利息	-21	-21	0	-
持分法損益	-4	-2	+2	-
その他営業外収支	-2	-5	-3	-
経常利益	76	95	+19	+25%

基礎的収益力(※)	79	99	+20	+25%
------------------	-----------	-----------	-----	------

(※) 基礎的収益力 = 営業利益 + 貸倒引当金繰入額 + 受取配当金 + 金利収支 + 持分法損益

■ 持分法損益は改善したが、受取配当金が減少し、営業外収支はやや悪化。

当期純利益: 億円



(億円)	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	増減額	増減率
特別損益	-7	-3	+4	-
特別利益	4	1	-3	-79%
特別損失	-10	-4	+7	-
税引前利益	69	92	+23	+33%
法人税等	-21	-21	+0	-
少数株主利益	-7	-7	-1	-
四半期純利益	40	64	+24	+58%

- 特別損益は、投資有価証券売却損を計上、3億円の損失。
- 営業利益段階までの増益により、四半期純利益は増益。

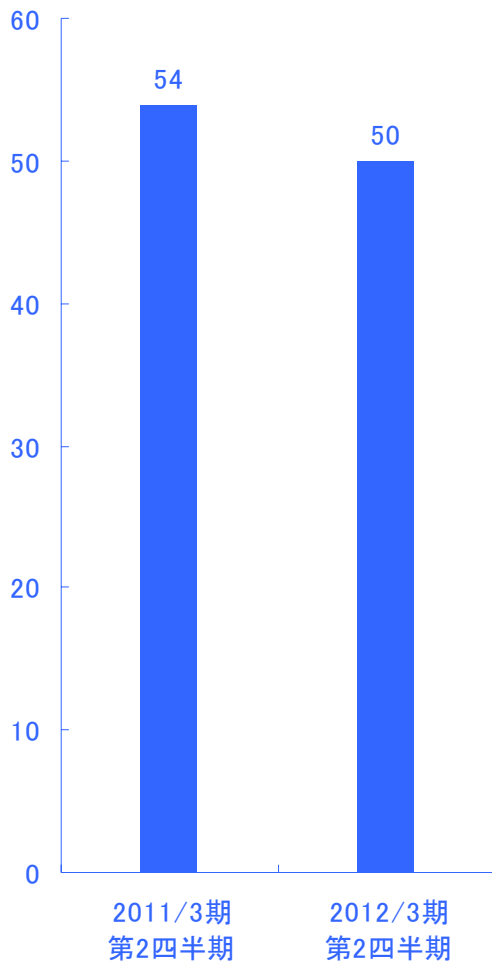


2012年3月期 第2四半期決算概要(セグメント別実績)

(億円)	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高 (外部売上高)	4,546	4,934	388	9%
電子・IT	1,276	1,250	-26	-2%
食品・食糧	1,404	1,461	58	4%
鉄鋼	464	513	48	10%
機械・プラント	305	359	54	18%
環境・素材	1,013	1,261	248	24%
その他(含む調整額)	83	89	6	8%
営業利益	92	115	23	25%
電子・IT	54	50	-3	-6%
食品・食糧	13	30	17	131%
鉄鋼	15	19	3	22%
機械・プラント	5	4	-1	-12%
環境・素材	4	9	5	119%
その他(含む調整額)	1	3	2	111%

2012年3月期 第2四半期実績(電子・IT)

営業利益: 億円



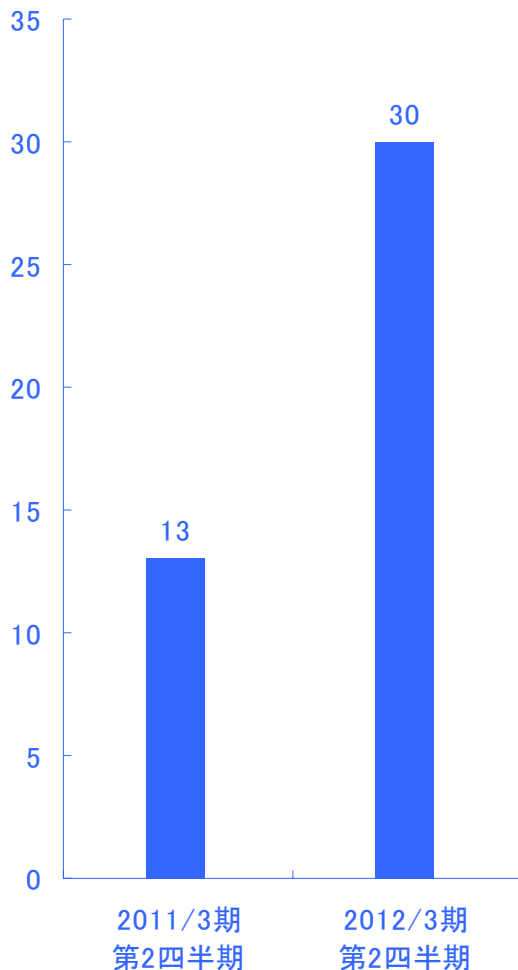
(億円)	2011/3 2Q実績	2012/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	1,276	1,250	-26	-2%
売上総利益	207	208	+1	+0%
営業利益	54	50	-3	-6%

2012年3月期 第2四半期実績のポイント

- 半導体製造装置は、前年の反動による需要の落ち込みを受け低調。
- 一方、ICT・モバイルソリューション事業は、スマートフォン等の市場拡大を背景に、販売網の拡充が奏功し、好調に推移。

2012年3月期 第2四半期実績(食品・食糧)

営業利益: 億円



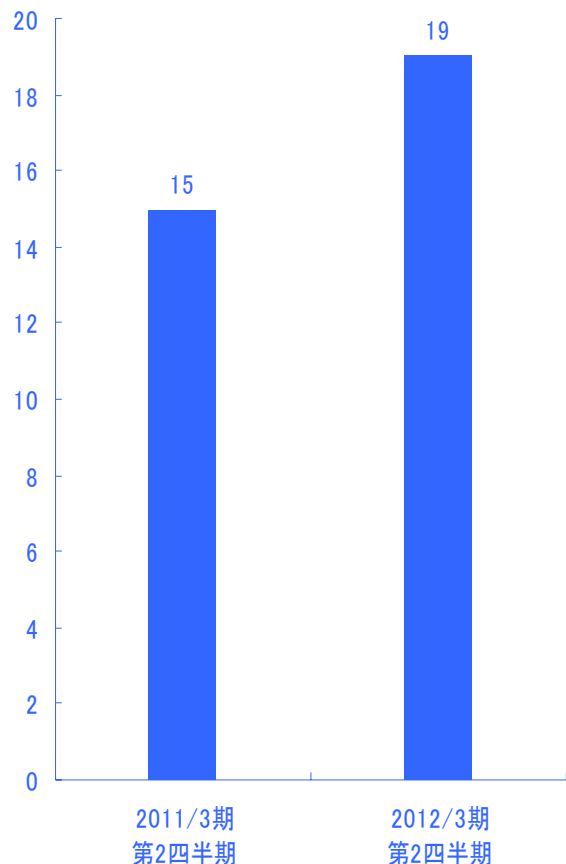
(億円)	2011/3 2Q実績	2012/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	1,404	1,461	+58	+4%
売上総利益	55	72	+17	+31%
営業利益	13	30	+17	+131%

2012年3月期 第2四半期実績のポイント

- 食品事業は、加工食品等が牽引し、全般的に好調。
- 食糧事業は、震災の影響で国内の酪農が厳しい環境にある中、飼料の販売強化が奏功し、収益に貢献。
- 輸入畜水産物の販売は、底堅く推移。

2012年3月期 第2四半期実績(鉄鋼)

営業利益: 億円



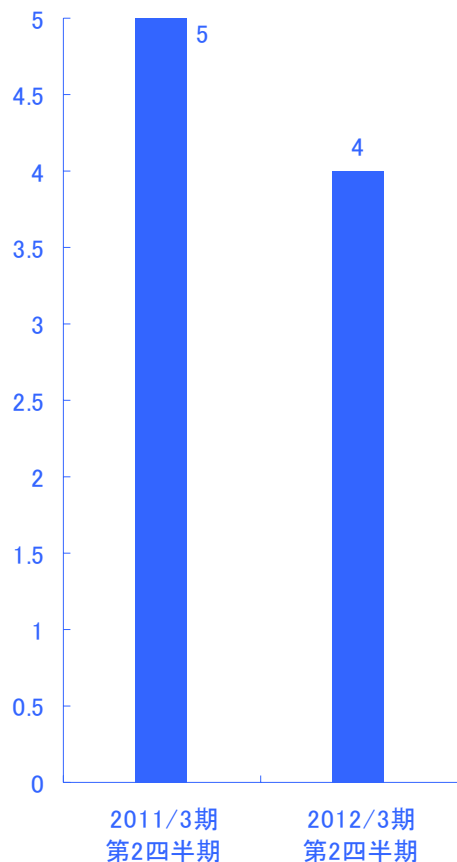
(億円)	2011/3 2Q実績	2012/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	464	513	+48	10%
売上総利益	33	37	+4	+12%
営業利益	15	19	+3	+22%

2012年3月期 第2四半期実績のポイント

- アジア・欧米向け自動車用特殊鋼の輸出取引が活発に推移。
- 北米・アジア向けステンレス等取引好調。
- 鉄鋼原料取引は、引き続き堅調に推移。

2012年3月期 第2四半期実績(機械・プラント)

営業利益：億円



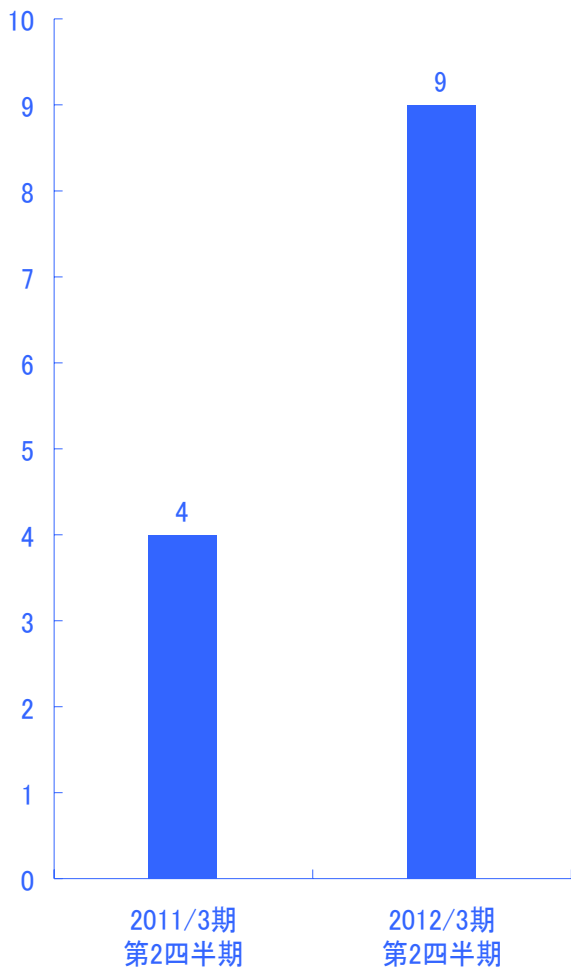
(億円)	2011/3 2Q実績	2012/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	305	359	+54	+18%
売上総利益	31	33	+2	+6%
営業利益	5	4	-1	-12%

2012年3月期 第2四半期実績のポイント

- 自動車部品関連取引は、震災によるサプライチェーン寸断等の影響で低調にスタートしたが、第2四半期中より回復。
- 工作機械・産業機械取引は、需要回復により全体的に堅調に推移。
- 太陽光発電向けシリコンウェハー加工事業は、競争激化により低調。

2012年3月期 第2四半期実績(環境・素材)

営業利益: 億円



(億円)	2011/3 2Q実績	2012/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	1,013	1,261	+248	+24%
売上総利益	40	44	+4	+10%
営業利益	4	9	+5	+119%

2012年3月期 第2四半期実績のポイント

- エネルギー事業は、震災後の電力会社向け重油販売増加を追い風に、堅調に推移。
- 化学品事業は、車載用電池原料の輸出取引が伸長すると共に、潤滑油・樹脂原料などの化学品全般が堅調に推移。

2

2012年3月期 通期見通し

通期見通しを上方修正

(億円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 通期見通し (11月4日修正)	増減額	増減率	(参考) 期初公表 見通し
売上高	9,369	9,800	+431	+5%	9,500
営業利益	180	200	+20	+11%	170
経常利益	143	155	+12	+9%	120
当期純利益	92	70	-22	-24%	55

- 下半期については、円高や欧州経済情勢、タイ洪水の影響など、不透明要因があるものの、上半期の好調な結果を踏まえ、通期見通しを上方修正。
- 当期利益については、さらに税制改正等の影響を折込む。

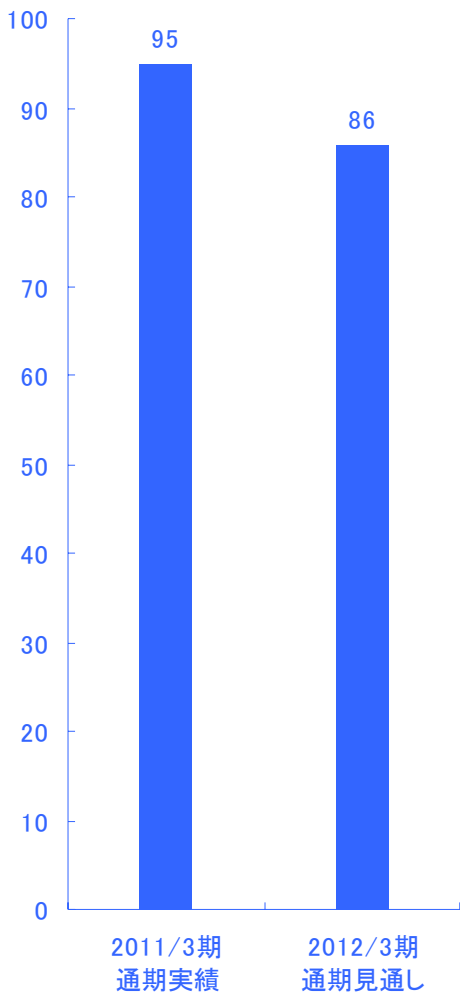


2012年3月期 通期見通し(セグメント別見通し)

(億円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 通期見通し (11月4日修正)	増減額	増減率	(参考) 期初公表 見通し
売上高 (外部売上高)	9,369	9,800	+431	+5%	9,500
電子・IT	2,539	2,300	-239	-9%	2,550
食品・食糧	2,719	2,900	+181	+7%	2,800
鉄鋼	988	1,100	+112	+11%	1,050
機械・プラント	673	680	+7	+1%	685
環境・素材	2,275	2,640	+365	+16%	2,250
その他(含む調整額)	176	180	+4	+2%	165
営業利益	180	200	+20	+11%	170
電子・IT	95	86	-9	-9%	89
食品・食糧	28	51	+23	+80%	31
鉄鋼	34	35	+1	+3%	33
機械・プラント	11	6	-5	-44%	8
環境・素材	10	18	+8	+84%	7
その他(含む調整額)	3	4	+1	+58%	2

2012年3月期 通期見通し(電子・IT)

営業利益: 億円

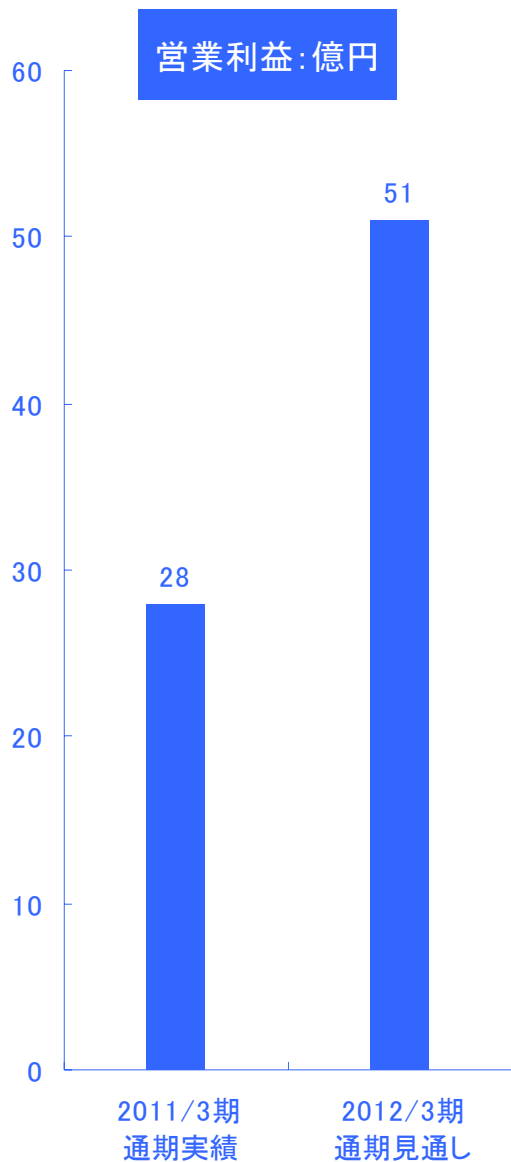


(億円)	2011/3	2012/3			
	通期実績	2Q実績	通期見通し	増減額	増減率
売上高	2,539	1,250	2,300	-239	-9%
売上総利益	411	208	385	-26	-6%
営業利益	95	50	86	-9	-9%

2012年3月期 通期見通しのポイント

- 半導体関連は、円高の影響等もあり、引き続き回復は厳しい見込み。
- ICT・ソリューション事業は、クラウドなど新市場での開拓にも注力。
- モバイル事業は、新規大型出店や新機種導入を追い風に、利益の積上げを狙う。

2012年3月期 通期見通し(食品・食糧)



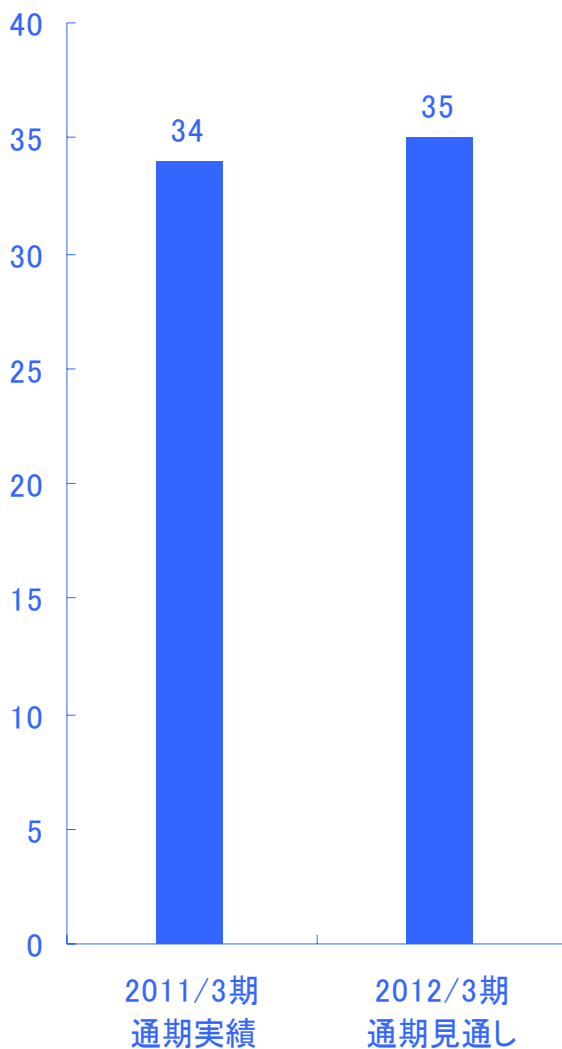
(億円)	2011/3	2012/3			
	通期実績	2Q実績	見通し	通期増減額	通期増減率
売上高	2,719	1,461	2,900	+181	+7%
売上総利益	115	72	140	+25	+22%
営業利益	28	30	51	+23	+80%

2012年3月期 通期見通しのポイント

- 食品事業においては、畜産物や加工・調理食品を中心に商材の安定供給と新規提案を通じ、取引の拡大を図る。
- アジア地域を中心とした海外向け販売の取り組みを推進。
- 食糧事業は、風評被害の影響や海外商品市況の変動等不確実な外部環境が予想される中、付加価値商材の着実な販売増加を目指す。

2012年3月期 通期見通し(鉄鋼)

営業利益：億円



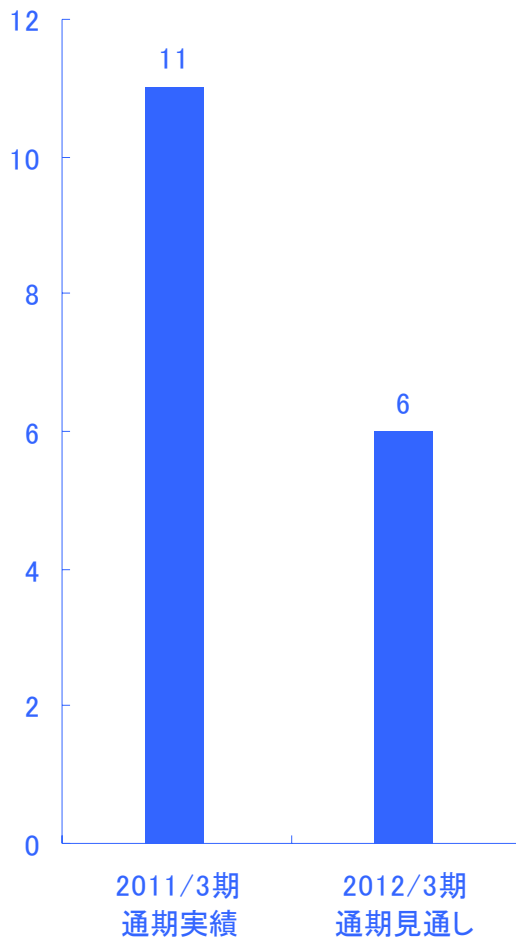
(億円)	2011/3	2012/3			
	通期 実績	2Q 実績	通期 見通し	通期	
				増減額	増減率
売上高	988	513	1,100	+112	+11%
売上総利益	70	37	75	+5	+8%
営業利益	34	19	35	+1	+3%

2012年3月期 通期見通しのポイント

- 欧米向け特殊鋼及びステンレス製品の取引は下期も堅調に推移する見込み。
- 北米での油井管事業は、復調傾向。
- 国内市場については、震災後復興需要の取り込みを目指す。

2012年3月期 通期見通し(機械・プラント)

営業利益: 億円



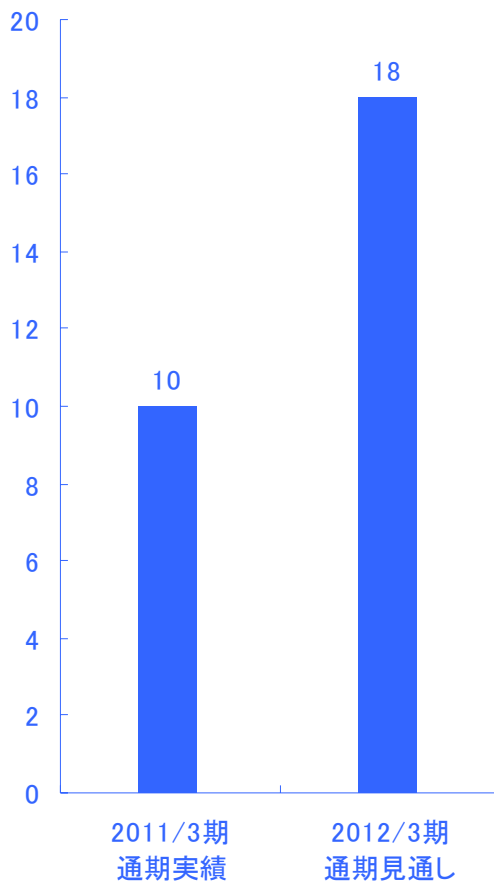
(億円)	2011/3	2012/3			
	通期実績	2Q実績	見通し	通期増減額	通期増減率
売上高	673	359	680	+7	+1%
売上総利益	65	33	60	-5	-7%
営業利益	11	4	6	-5	-44%

2012年3月期 通期見通しのポイント

- 自動車関連取引は、震災の影響からは回復しており、順調に推移する見込み。工作機械・産業機械取引においても回復基調。但し、タイ洪水の影響は現時点では不透明。
- 太陽光発電向けシリコンウェハ加工事業は、引き続き環境が厳しく、低調に推移する見込み。

2012年3月期 通期見通し(環境・素材)

営業利益: 億円








(億円)	2011/3	2012/3			
	通期実績	2Q実績	見通し	増減額	増減率
売上高	2,275	1,261	2,640	+365	+16%
売上総利益	84	44	100	+16	+19%
営業利益	10	9	18	+8	+84%

2012年3月期 通期見通しのポイント

- エネルギー事業は、引き続き電力会社向け重油販売の需要が続き、堅調推移の見込み。
- 化学品事業は、車載用電池原料の輸出取引が引き続き堅調推移の見込み。

兼松グループの事業概要

事業セグメント	主要な事業	主要取扱商品	主要グループ会社
電子・IT 	半導体部品・装置	半導体・電子部品、電子モジュール・部材、半導体・液晶装置	兼松エレクトロニクス 兼松コミュニケーションズ 日本オフィス・システム 兼松エアロスペース 新東亜交易
	機構部品	車載部品、プリンタ関連機器、電子モジュール	
	ICT・モバイル	システムソリューション、通信機器・部品 携帯通信端末、モバイルコンテンツ、モバイル広告	
	航空宇宙	航空機、航空機部品	
食品・食糧 	食品	缶詰・冷凍・ドライフルーツ、ワイン、コーヒー、ココア、砂糖、胡麻、落花生、雑豆、蜂産品、ナッツ、種実類、油脂、乳製品、加工食品	兼松食品 兼松アグリテック 兼松ソイテック 新東亜交易
	畜水産	畜産物、水産物	
	穀物油脂・飼料酪農	小麦、大麦、米、大豆、加工食品、飼料、肥料、ペットフード、ペット用品	
鉄鋼 	鉄鋼貿易	表面処理鋼板、シームレスパイプ	SSOT 兼松トレーディング
	特殊鋼貿易	ステンレス、特殊鋼線材・条鋼	
	鋳鍛造品	精密鍛造品	
	国内鉄鋼・鉄鋼原料	鉄鋼製品全般、鉄鉱石、コークス	
機械・プラント 	輸送機	自動車、船舶、船舶用機材	兼松ケージーケイ
	プラント・インフラプロジェクト	各種プラント、通信案件、ODA案件、光ファイバー、電力プロジェクト	
	工作機械・産業機械	工作機械、産業機械	
環境・素材 	原油・石油製品・ガス	原油、石油製品、LPG、排出権取引	兼松ペトロ 兼松ケミカル 兼松ウェルネス
	機能性化学品	リチウム電池原料、太陽電池関連部材、石油化学製品	
	ライフサイエンス	医薬品、医薬中間体、機能性食品素材、栄養補助食品	

関係会社および従業員の状況

1. 主要連結対象会社の売上高

(億円)	事業	持分比率	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	増減額
兼松エレクトロニクス	ICTソリューション	58.28%	223	227	+4
兼松コミュニケーションズ	モバイル	100%	470	516	+45
兼松食品	食品・畜水産	100%	89	80	-9
兼松アグリテック	飼料酪農	100%	46	55	+9
兼松トレーディング	国内鉄鋼 鉄鋼原料	100%	215	227	+12
兼松ケージーケイ	工作機械 産業機械	97.90%	155	194	+39
兼松ペトロ	石油製品・ガス	100%	624	699	+75
兼松ケミカル	機能性化学品	100%	89	100	+11
新東亜交易	商社	100%	545	581	+35
Kanematsu USA Inc.	海外現地法人	100%	437	447	+10

2. 従業員の状況

(人)	2011年3月末	2011年9月末	増減
単体	832	811	-21
連結子会社	3,938	4,036	+98
合計	4,770	4,847	+77

※従業員は就業人員数

(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む)

関係会社の状況

1. 連結会社の黒字・赤字会社数推移状況

(社数)	2011年3月期 第2四半期					2012年3月期 第2四半期					前年同期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字会社	29	35	8	7	79	35	28	9	10	82	3
黒字比率	74%	85%	50%	44%	71%	95%	68%	56%	67%	75%	5%
赤字会社	10	6	8	9	33	2	13	7	5	27	-6
合計	39	41	16	16	112	37	41	16	15	109	-3

2. 連結会社の黒字・赤字額推移状況 (連結調整を加味しない単純合算ベース)

(億円)	2011年3月期 第2四半期					2012年3月期 第2四半期					前年同期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字額	17	7	1	0	25	27	8	1	1	37	12
赤字額	-2	-0	-5	-0	-7	-	-1	-4	-0	-5	2
合計	15	7	-4	0	18	27	7	-3	1	32	14

“S-Project”概要

ビジョン

世界経済の激変の中で、『事業創造集団』として成長し、社会に貢献していきます。

基本コンセプト

- 事業の継続的な選択と集中を推進し、内外の商機を機敏に取り込むことにより、収益基盤の強化を図ります。
- 効率性・健全性を一段と高め、足場固め・経営基盤の強化を図ります。
- お取引先との信頼関係を深め、共に事業創造を追求します。

業績目標（2013年3月期）

- 連結売上総利益 800億円
- 連結営業利益 190億円

財務目標（2013年3月期）

- 自己資本比率 10%超
- ネットDER 2.0倍程度

可及的早期の復配を目指す

収益基盤の強化

- 事業の継続的な選択と集中
- 成長戦略の推進

事業ポートフォリオの戦略的構築

『ICT・電子』、『食料』、『環境』、『鉄鋼・プラント』の中で、今後成長の期待出来る事業に経営資源を重点的に配分します。

- ICTビジネス・電子ビジネスの収益増強
⇒ソリューション事業基盤の拡大、中国・アジアでの取組強化
- 食料分野の事業基盤拡大と収益力強化
⇒中国・アジア地域での販路拡大、食資源の供給体制強化
- 太陽電池関連など環境分野における事業基盤拡大と新規ビジネス立ち上げ
⇒ 太陽光・電池分野に注力、EV関連事業への参画
- 鉄鋼・プラント分野における収益基盤拡大
⇒ アジアにおける自動車関連事業の取組み強化

経営基盤の強化

- 財務内容の改善
- 効率経営の推進
- 連結経営システムの高度化・深化
- グローバルな人材育成

財務内容の改善

- ネット有利子負債の削減、資産ポートフォリオの組み換え

効率経営の推進

- 間接部門のスリム化などコスト構造の見直し

連結経営システムの高度化・深化

- 新経営管理システムの導入、内部統制整備、コンプライアンス取組強化

グローバルな人材育成

- 連結経営を担う人材育成、海外人員の増強

“S-Project” 計画・初年度実績

(億円)	2011/3期		2012/3期 計画	2013/3期 計画
	計画	実績		
売上高	8,500	9,369	9,500	10,500
売上総利益	750	769	775	800
販管費	600	589	605	610
営業利益	150	180	170	190
経常利益	100	143	120	140
当期純利益	45	92	55	65
【セグメント別】				
売上高	8,500	9,369	9,500	10,500
電子・IT	2,300	2,539	2,450	2,600
食品・食糧	2,700	2,719	3,000	3,300
鉄鋼	900	988	1,000	1,150
機械・プラント	550	673	650	700
環境・素材	1,900	2,275	2,250	2,600
その他(含む調整額)	150	176	150	150
営業利益	150	180	170	190
電子・IT	70	95	75	80
食品・食糧	40	28	45	50
鉄鋼	25	34	30	35
機械・プラント	0	11	2	4
環境・素材	9	10	12	15
その他(含む調整額)	6	3	6	6

(億円)	2011/3期		2012/3期 計画	2013/3期 計画
	計画	実績		
総資産	4,000	3,887	4,040	4,100
自己資本	330	331	385	450
自己資本比率	8.3%	8.5%	9.5%	10%超
グロス有利子負債	1,850	1,736	1,770	1,690
グロスDER(倍)	5.6	5.2	4.6	3.8
現預金	850	690	850	850
ネット有利子負債	1,000	1,046	920	840
ネットDER(倍)	3.0	3.2	2.4	2.0倍程度

《memo》

《memo》



兼松株式会社
KANEMATSU CORPORATION